



技術革新部 環境経営推進室長

木村 丈治

北海道洞爺湖サミットの開催等により、グローバルでの環境に対する意識が高まりつつある昨今、地球温暖化などの、地球環境問題は深刻さを増すばかりです。

今後、未来に渡り永続的に私たちが発展していく為には、地球環境保護が企業の重要な責務であると考え、更に取り組みを強化しています。

### ①イノベーションの取り組み

私たちは、交換機、伝送設備、ネットワーク制御端末において、消費電力等の効率化を進めています。また、環境負荷低減が見込める技術や機器についても積極的に導入を進め、今後は光回線の販売拡大を見越し、宅内系機器（ONU/CTU）の省電力化を進めています。

また、在宅勤務システムやTV会議システム等のICTサービスの提供により、環境負荷低減に貢献しています。

### ②循環型社会の実現

電話やブロードバンドサービスの提供には、通信設備やお客様宅内に設置される情報機器等が必要になります。NTT西日本グループでは、通信設備や情報機器の更改時における3R（※1）運動を推進し、ゼロエミッション（※2）達成に向けて、循環型社会の実現を目指しています。

### ③環境意識の醸成

2007年度よりNTT西日本グループで働く全社員に対して、環境問題に対する研修を実施する等、社員の環境意識の醸成に取り組んでいます。企業内に閉じた環境意識だけでなく、家庭内においても環境問題に配慮できる社員を育てていきます。



ネットワーク部資材調達センタ所長

乃美 賢次

資材調達センタでは、循環型社会の実現に向け日々努力を行っているところですが、とりわけ環境負荷を低減するため、購入から廃棄までの幅広い過程で3R（※1）運動を徹底し、産業廃棄物の削減を推進して参りました。

限りある資源を有効に使うため、使用済み通信設備を回収し、再生品としてリユースを推進していくことで廃棄物およびCO<sub>2</sub>排出削減を目指しており、そういった仕組みを継続していくことが「ゼロエミッション」（※2）に繋がり、更には物品調達コストを低減させ、経営改善に寄与すると考えています。

資源のリサイクルとしては、ケーブル被覆のクローズドリサイクル、コンクリート電柱の路盤材への転用、廃プラスチックのマテリアルリサイクル等撤去通信設備のリサイクル率の向上を図り、2006年度のリサイクル率99.84%から2007年度は99.92%と限りなくゼロエミッションに近づいています。

今後も継続して環境に配慮した調達業務を推進して参りたいと考えています。



ネットワーク部  
ネットワーク設備部門長

相浦 司

ネットワーク全体の効率向上を図るため、低消費電力機器の導入や高効率機器への更改を計画的に実施するとともに、冷却を考慮した装置導入ガイドラインを新たに制定し、発熱密度や気流を踏まえた空調制御方法の確実な展開に対する取り組みを実施しています。

また、グループ会社と連携したTPR（トータルパワー改革）運動にて日常業務の中での継続的な省エネルギー活動を推進し、その効果を数値化することによって省エネ意識の向上を図っています。

今後、更なる省エネ化を推進するため、低消費電力化に向けた装置開発、機器評価基準の制定、サーバー仮想化や高効率空調システム等の技術開発をNTTグループ各社と連携して取り組み、地球温暖化防止に貢献していきます。

※1 3Rとは、Reduce（発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再資源化）

※2 ゼロエミッションとは、事業活動で排出される廃棄物について、リサイクルなどを積極的に行うことで最終処分量をゼロにすること